

# Istanbul Weekly vol.8-no.25

## イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2019年9月20日（金）

### — 今週のポイント —

- 政治：**ダウトオール元首相が AKP を離党。  
トルコ・ロシア・イラン 3 か国首脳会合開催。
- 経済：**トルコ中央銀行、政策金利を 3.25% 引き下げ 16.5% に。  
6 月の失業率、対前年同月比 2.8% 増の 13%、若年層は同 5.4% 増の 24.8%。
- 治安：**ディヤルバクル県において爆弾テロ。
- 軍事：**トルコ軍がテロ対策作戦の範囲拡大。
- 社会：**一部の公共機関が週末及び祝日の 24 時間運行を開始。

### 政治

#### 【内政】

#### ●カフタンジュオール CHP 議員ツイッター裁判判決

9月6日、カフタンジュオール CHP イスタンブール県支部長が過去に行ったツイッター投稿についての第一審裁判の第3回公判がイスタンブール第37重罪裁判所にて開かれた。カフタンジュオール議員には、「大統領侮辱」「トルコ共和国に対する公の侮辱」、「市民への憎悪及び敵対心の扇動」、「テロ組織のプロパガンダ」及び「公務職への侮辱」の5つの罪により、合計9年8か月20日の懲役刑の判決が下された。同議員は、2013年ゲズイ運動時にエルドアン大統領の母親を侮辱する写真をツイートし、2018年にこれを認め大統領に謝罪した経緯があり、2016年7月15日には「祈りを捧げながら喉を切ることで民主的な闘争とするのか。信仰している神があなた方にも災いをもたらしますように。」とツイートした。一方で、「歴史における今日は、アルメニア虐殺事件が始まった日。殺害されたアルメニア市民を悼む。19時15分にタクシムで。」というツイートについては合成であると否認している。(9月7日付けM紙14面及び5月24日付けS紙インターネット版)



(写真は、9月7日付けM紙インターネット版から)

#### ●アルンチ元副首相の与党批判に対しバフチェリ MHP 党首が批判

9月12日、解任されたアフメット・テュルク・マルディン元市長について「テロとの関連はない」と発言し、また、カフタンジュオール CHP イスタンブール県支部長の裁判判決を「表現の自由に

反する」と批判したアルンチ元副首相に対し、バフチェリ MHP 党首は、「もはやアルンチ氏は端にいるべきである。」と批判した。(9月13日付けC紙5面)

#### ●ソイル内相、「イمامオール市長を酷い目にあわせる」との発言をトーンダウン

9月8日、ソイル内相は、CNNトルコ局の番組で、「イスタンブール及びアンカラの市長を解任し、代理市長を任命することはありません。」と発言した。同内相については、解任された市長らと面会したイمامオール・イスタンブール市長を批判して「酷い目にあわせる。」と述べたことや、6日に、イスタンブールに代理市長を任命するかとの記者の質問に対して「日曜(8日)にはっきり発表する。」と答えたことで、その動向が注目されていた。(9月9日付けC紙4面)

#### ●ダウトオール元首相が AKP を離党

9月12日、ダウトオール元首相は、ベイスケントの事務所で開催した記者会見を開き、AKP から自ら離党することを発表した。2日、AKP は、同元首相の AKP からの除籍につき中央規律委員会にて審議する旨発表していた。元首相は、「(除籍審議となることを)想定していなかった。」と述べた。(9月13日付けM紙インターネット版)

#### ●アリ・ババジャン氏が新党結成についてインタビュー回答

9月10日、アリ・ババジャン氏がカラル紙のインタビューに応じ、2020年までに新党を設立すること、メンバーについては現段階で未定であること、ギュル元大統領の新党参加については本人が「中立でありたい」と述べているものの新党設立を支援していることを述べた。また、ダウトオール元首相の新党への参加については、「近い友人ではあるものの政治における優先事項、手法、着目している要素が非常に異なる。現在は将来を見なければならず、チームとしての活動を行わなければならない。」と発言した。(9月10日付けカラル紙インターネット版)



(写真は、9月10日付けカラル紙インターネット版から)

### ●在イスタンブール米国総領事館職員、釈放されず

9月18日、イスタンブール第14重罪裁判所で、FETO関係者との関連が疑われシリヴリ刑務所で勾留されている在イスタンブール米国総領事館職員のメティン・トプズ氏の4回目の公判が行われた。トプズ氏は、長期勾留が刑罰と同様であり「自由になりたい」と主張したが、保釈は認められなかった。次回公判は12月11日に決定した。(当館注:トプズ氏は2017年10月4日に逮捕され、トルコ・米国関係悪化の原因の一つとなった。)(9月19日付けC紙5面)

### ●与党内部に亀裂発生か

9月18日、AKP内の「ペリカン」派と呼ばれるグループがサバフ紙のコラムでギュル法相を攻撃したと言われていることについて、ギュル法相は、「昨日までFETO派と一つ鍋の料理にスプーンをふっていた者達が、今日突然『FETOとの闘争』を講義するものではない。」と発言した。17日のサバフ紙のディレキ・ギュンギョル記者の「司法の危険に気づいていますか」という題のコラムで、ここ数日の司法の動きがおかしく、FETO関係者の関与を疑うという内容が掲載された。サバフ紙はアルバイラク家がオーナーであることから、与党内のペリカン派が党内で権力を獲得しようと動いているのではないかと議論されている。(当館注:2016年に公開されたブログ「ペリカン文書」及び同名のツイッターアカウントは、エルドアン大統領とダウトオール首相(当時)の不仲を暴露し、首相を攻撃する内容の情報を公開した。ペリカン派は、その後ダウトオール首相を辞任に追い込んだとされる。)(9月19日付けC紙5面及び18日付けT24)

### ●『黙っていられない(Susamam)』ラップ曲に罪の訴え

シャヌシェルをトップとした18人のアーティストが歌うラップ曲『黙っていられない(Susamam)』に対し、市民がイスタンブール検察に苦情を訴えた。同曲は不法投棄、暴力、女性の殺人、動物の権利、教育問題などトルコ社会で問題となっているテーマについての意見を多く盛り込み15分の長さ及び。(当館注:YoutubeのPV動画は9月5日に公開され、20日現在約2600万回再生された。)(9月17日付けS紙インターネット版)

### 【外交】

#### ●トルコ・ロシア・イラン3か国首脳会合開催

9月16日、アンカラ・チャンカヤの大統領旧公邸にて、シリア情勢に関するトルコ・ロシア・イラン3か国の首脳会談が行われた。シリア情勢に関する3か国会談は今回で5度目となる。3か国会談の前にはエルドアン大統領とローハニ・イラン大統領、エルドアン大統領とプーチン大統領が各々2時間ずつの個別会談を行った。3か国会談後の記者会見では、シリアの領土一体性の尊重の強調、憲法委員会メンバーの150名のリストの検討が終了し、憲法委員会設置において合意したことを含む14項目の共同宣言が発表された。(9月17日付けM紙9面)

#### ●ムニューシン米財務長官:トルコへの制裁を検討

9月9日、ムニューシン米財務長官は、トルコがロシアから

S-400を購入したことについて、米国がトルコへの制裁を検討していると明らかにした。ムニューシン長官は「具体的な決定についてコメントはできないが、検討している。」と発言した。(9月9日付けBloomberg HT)

### 経済

#### 【金融】

##### ●エルドアン大統領「政策金利を一桁台にする」

9月8日、エルドアン大統領は、政策金利を短期間で一桁台に引き下げる、そうすれば、インフレ率も一桁台に落ち着くであろう、と述べた。同大統領は、7日にも12日に開催されるトルコ中央銀行の金融政策委員会で、同行が政策金利を引き下げると考えている、と述べていた。(9月8日付けBloomberg)

##### ●トルコ中央銀行、政策金利を3.25%引き下げ16.5%に

9月12日、トルコ中央銀行は、金融政策決定会合を開催し、7月に4.25%引き下げて19.75%となっていた一週間レポ金利をさらに3.25%引き下げ、16.5%とすることを決定した。この決定に伴う声明の中で同行は、インフレ率は改善の見通しが継続し、また、経済活動は緩やかに回復していると述べた。(9月13日付けHDN紙1面及び9面)

##### ●BDDK:総額81億ドルの不良債権に対する引当金の確保を銀行に指示

トルコの銀行規制監督庁(BDDK)は、トルコの銀行の資産内容の審査により、主に建設部門及びエネルギー部門へのローンによる不良債権の総額が460億トルコリラに達すると判断したと述べた。また、同行は、トルコの銀行に対し、2019年末までにこのローンの引当金を確保するよう指示した。(9月18日付けH紙8面及び9月19日付けHDN紙9面)

##### ●EBRD総裁:トルコに対し2019年に6億2,150万ドルの投資を追加

欧州復興開発銀行(EBRD)のチャクラバルティ総裁は、同行が2009年からこれまでにトルコに対し約130億ドル(昨年だけで約12億ドル)を投資し、さらに2019年に6億2,150万ドルの投資を追加したと述べた。また、同総裁は、2019年から2024年にかけての同行の新5か年戦略の中で、イノベーションのためのベンチャーキャピタルの導入、女性の労働参加促進及び環境保全型経済に対する支援を通じてトルコの経済の回復力の強化に注力すると述べた。(9月10日付けHDN紙インターネット版)

#### 【マクロ経済】

##### ●トルコの7月の経常収支、12億米ドルの黒字

9月13日、トルコ中央銀行は、トルコの経常収支が本年7月に12億米ドルの黒字となり、前年同月の22億米ドルの赤字から改善したと発表した。(9月13日付けHDN紙インターネット版)

#### 【産業】

##### ●7月のトルコの粗鋼生産量、対前年同月比10.6%減の290万トン

9月5日、トルコ鉄鋼生産者協会(TCUD)は、7月のトルコの粗鋼生産量は対前年同月比10.6%減の290万トンであったと発表した。また、7月の鉄鋼輸出量は同5.7%増の190万トンとなったが、輸出額は鉄鋼の価格下落により同4.5%減の186億米ドルになったと述べた。なお、今年1月から7月までのトルコの粗鋼生産量も、対前年同期比10.2%減の1,990万トンとなった。(9月6日付けHDN紙9面)



(写真は、9月5日付け HDN 紙インターネット版から)

### 【交通】

#### ●トウラン運輸インフラ相:イスタンブール空港への地下鉄の最高時速は120km

9月6日、トウラン運輸インフラ相は、現在建設中のガイレットペとイスタンブール空港とを結ぶ約40kmの地下鉄路線について、トルコ初の高速地下鉄になり、最高時速120kmで運行する予定であると述べた。(9月7日付け HDN 紙インターネット版)



(写真は、9月7日付け HDN 紙インターネット版から)

### 【貿易】

#### ●ペキジャン貿易相、中国との貿易不均衡を指摘

9月6日、ペキジャン貿易相は、第88回イズミル国際見本市の中で行われたトルコ中国ビジネスフォーラムにおいて、昨年のトルコから中国への輸出額は30億米ドルであったが、中国からトルコへの輸入額は200億米ドルに達したと述べ、中国との貿易赤字を指摘した。一方、同相は、中国がドイツとロシアに次ぐ3番目に大きなトルコの貿易相手国になっているとも述べた。(9月6日付け HDN 紙インターネット版)

### 【雇用】

#### ●6月の失業率、対前年同月比2.8%増の13%、若年層は同5.4%増の24.8%

9月16日、トルコ統計庁(TUIK)は、トルコの6月の失業率は対前年同月比2.8%増の13%であったと発表した。15歳以上の失業者数は同93万8千人増となり425万人に達した。年齢構成別に見ると、15歳から24歳の若年層の失業率は同5.4%増の24.8%、15歳から64歳の者の失業率は同2.9%増の13.3%となった。(9月17日付け HDN 紙9面)

### 治安

#### ●PKK 関連組織がイスタンブールの工場火災に犯行声明

9月9日、PKK 関連組織が同月6日にイスタンブール市内の工場で発生した2件の火災について犯行声明を行った。他に過去2ヶ月間の計20件の火災についても、犯行を表明しており、警察は関連性について捜査を進めている。(9月11日付け S 紙インターネット版)

#### ●1週間で不法移民者6,600名以上が逮捕

9月10日、アナドル通信は、9月1日からの1週間に6,600名以上の不法移民者が逮捕されたと発表した。特にギリシャとブルガリアの国境に面したエディルネ県においては4,000名以上が逮捕されており、病院又は各県の移民局へ移送されて

いる。(9月11日付け S 紙インターネット版)



(写真は、9月11日付け S 紙インターネット版から)

#### ●ISILの「裁判官」がイスタンブールにおいて逮捕

9月7日、警察は、イスタンブールでのテロ対策捜査において、ISIL 関係容疑で男性1名を逮捕した。容疑者は、シリア東部ラッカにおいて ISIL の裁判官を務め多数の処刑に関与していた。また、容疑者が所持していた ISIL 関連の文書も押収した。(9月14日付け S 紙インターネット版)



(写真は、9月14日付け S 紙インターネット版から)

#### ●ディヤルバクル県において爆弾テロ

9月12日、トルコ南東部ディヤルバクル県において、車道で爆弾が爆発し、民間人7名が死亡、10名が負傷した。警察は、4名の容疑者を逮捕し、PKKの犯行とみて捜査を継続している。また、この事件に対して、PKKへの批判が強まっており、トルコ東部地域を中心に抗議集会が発生した。(9月17日付け S 紙インターネット版)

#### ●外国籍の ISIL 関係者8名がイスタンブールで逮捕

9月19日、トルコ警察は、イスタンブールでの対テロ捜査において、外国籍の8名を ISIL 関連容疑で逮捕したと発表した。容疑者の内2名は女性で、ISIL 関連の文書などが押収されている。これまでトルコは、シリアでの ISIL に参加を試みる外国人の経路地となっており、当局は警戒を強めている。(9月19日付け S 紙インターネット版)



(写真は、9月19日付け S 紙インターネット版から)

### 軍事

#### ●トルコ軍がテロ対策作戦の範囲拡大

9月18日、トルコ国防省はシリア北部での対テロ作戦の第三段階として範囲を東のイラク北部国境方面へ60キロ拡大し、さらに派遣部隊を増加させることを発表した。これまでの作戦はテロリストが国境を越えてトルコ国内へ流入することを防ぐ目的があり、今回はテロ組織の冬期活動を防止するためであるとしている。(9月18日付け S 紙インターネット版)



(写真は、9月18日付けS紙インターネット版から)

## 社会

### ●イスタンブールコーヒーフェスティバルのチケット販売開始

9月19日から22日にかけて、ヨーロッパの二大コーヒーフェスティバルのうちの一つで、今年で開催6年目になるイスタンブールコーヒーフェスティバルが、シシリ地区のクチュクチュフトリック公園にて開催される。同フェスティバルでは、地元の著名なコーヒーショップや世界的なコーヒーショップが出展し、様々なセミナーやワークショップが開催される。参加者は、有名なバリスタによる味を楽しむことができる。(9月6日付けHDN紙インターネット版)



(写真は、9月6日付けHDN紙インターネット版から)

### ●一部の公共機関が週末及び祝日の24時間運行を開始

8月30日以降、イスタンブールの最も利用頻度の高いメトロ6路線及び一部のバス路線にて、祝日、宗教祭日及び週末に24時間運行が開始された。24時間運行が実施されるメトロは、M1A イェニカプ-アタチュルク線、M1B イェニカプ-キラズル線、M2 イェニカプ-タクシム・ハジオスマン線、M4タクシム-タウシャンテペ線、M5ウスキュダル-チェクメキョイ線、M6レVENT-ボアジチ大学線。深夜0時30分から明け方5時半までの間、料金は、通常の2倍となる。なお、24時間運行を行うメトロと連動して、計8路線のバスとメトロバスでも深夜運行が行われる。(9月8日付けHaber紙インターネット版)

### ●アメリカで、トルココーヒーのプロモーションツアー

9月9日、アメリカに伝統的トルココーヒーを紹介するプロモーションツアーを行うため、ニューヨークからトラックが出発した。このツアートラックは、ニュージャージー、メリーランド、ヴァージニア、ワシントンDCを巡回し、トルココーヒーやトルコ文化を紹介する。プロジェクト・ダイレクターのギゼム・サルグジュル・ホワイト女史は、「アメリカでは一日当たり4億杯のコーヒーが消費されているがトルココーヒーに対する認知度は低く、またトルココーヒーは苦いというイメージをこのプロモーションで払拭したい。またコーヒーを紹介するのみならず、アメリカとトルコの文化的架け橋を築くことを目的としている。」と述べた。(9月10日付けHDN紙インターネット版)



(写真は、9月10日付けHDN紙インターネット版から)

### ●アジア側の化学工場で大規模の火災が発生

9月18日、イスタンブールのトゥズラ地区にある化学工場で大規模の火災が発生し、消防士2名が負傷した。火から立ち上る濃い黒煙が、サビハギョクチェン国際空港の東3キロに位置するエリアを覆い、計48の消防車と138人の消防士が出動した。火災の原因調査が進行中。(9月18日付けDS紙インターネット版)



(写真は、9月18日付けDS紙インターネット版から)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

機関・団体等

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	緊急災害事態対応総局	PKK	クルディスタン労働者党
AKP	公正発展党	PYD	シリア民主主義連合党
BDDK	銀行規制監督庁	RTUK	ラジオ・テレビ高等機構
BOT	建設・運営・譲渡方式	SNC	シリア国民評議会
CHP	共和人民党	SPK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	THY	ターキッシュ・エアラインズ
HDP	人民民主党	TIKA	トルコ協力発展機構
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKI	トルコ集合住宅開発局
ISO	イスタンブール工業会議所	TPAO	トルコ石油公団
ISID	イラク・レバントのイスラム国	TUBITAK	トルコ科学技術研究機構
ITO	イスタンブール商業会議所	TUIK	トルコ統計庁
KRG	クルディスタン地域政府	TUPRAS	トルコ石油精製会社
MHP	民族主義者行動党	TUSIAD	トルコ産業・実業家協会
MIT	国家情報庁	YOK	高等教育委員会
MUSIAD	トルコ独立産業家・実業家協会	YSK	高等選挙委員会

引用メディアの略称

略語	正式名称	略語	正式名称
AA	Anadolu News Agency	HDN	Hürriyet Daily News
C	Cumhuriyet	HT	Haberturk
D	Dünya	IA	Ihlas News Agency
DS	Daily Sabah	M	Milliyet
H	Hürriyet	S	Sabah

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：https://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/itprtop\_ja/index.html

Facebook：<http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu>

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

[istanbulweekly@it.mofa.go.jp](mailto:istanbulweekly@it.mofa.go.jp)

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2019.1.1～2019.9.19 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃 盗		詐 欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2018年	0件	9件	0件	2件	0件	15件	0件	6件
2019年	3件	13件	0件	1件	2件	8件	0件	4件

★当館 HP 更新のお知らせ★

[休館日のご案内\(9月23日\(月\)\)](#) (9/19)

[在外投票の実施予定について\(参院埼玉補選\)](#) (9/16)

[ディヤルバクルでの爆発事案の発生について](#) (9/13)

[2020年度教科書\(前期用\):要望調査](#) (9/6)

[【イスタンブール日本人学校】入学説明会のご案内](#) (9/3)